

令和7年度 小樽地区の研究活動

研修部長

小樽市立錢函小学校

校長 大山倫生

1 はじめに

小樽市小学校長会は、市内17校の校長をもって構成されている。本会は、これまで、小学校長会重点目標と小学校長会重点施策の実現を活動の中心に据えながら、小樽市中学校長会との連携の下、組織的取組を進め、成果を上げてきた。とりわけ、「校内組織の機能化」「GIGAスクール構想の実現」「小中一貫した教育の推進」「人材育成」「業務改善」「教育DX」に焦点を当て、現状を分析するとともに目標や方針を共有し、足並みを揃えて学校運営の改善・強化が図られたことは大きな成果である。

また、今年度から、通知表を年2回にするなど、市内統一の取組を進めることができた。

今年度は、重点施策を「教育DXの推進による『これから時代に対応した学校教育』の確立」「地域及びCSとの協働・連携による『安全・安心な学校』づくり」とし、全ての小学校で教育活動を推進するとともに、本市はもとより北海道教育の益々の発展・充実に資するべく、研究・研修活動に取り組んでいるところである。



◇8月5日 令和7年度 小樽地区教育経営研究会◇

2 研究計画

(1) 重点施策

- ・教育DXの推進による「これから時代に対応した学校教育」の確立
- ・地域及びCSとの協働・連携による「安全・安心な学校」づくり

(2) 研究組織

- ・専門部を、組織部・研修部・厚生部の3部会として、研究活動を推進している。

3 研究活動（各専門部の活動）

(1) 組織部

子どもが安心して日常生活を送ることのできる安全な環境をつくるため、小・中・高校及び関係諸団体などとの連携を密にし、子どもたちの健全育成並びに教育環境の充実や組織強化と学校経営の改善に資する業務推進に努める。

- ① 小樽市小学校生活指導委員会に関する業務
- ② 小樽市学校生活協議会に関する業務
- ③ 小樽市PTA連合会、北海道PTA連合会の事業に関する連携協力
- ④ 関係法規の整備、「校長必携」の編集業務（中学校との連携）
- ⑤ 小樽地区教育経営研修会（小学校主管）に関する業務
- ⑥ 道小調査関係に関する業務 など

(2) 研修部

全連小・道小の研究課題との関連において、研究テーマを設定し、本市の実態と学校教育上の課題を踏まえ、校長の果たすべき役割と校長としてのリーダーシップの発揮はどうあるべきかについて研究を進める。

<研究テーマ>

「健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントの推進と校長の在り方」

<研究の視点>

- ◇生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育てる教育活動の推進
- ◇健康で安全な生活を営む実践力を育てる教育活動の推進

<研究計画>

- | | |
|------------|---------------------|
| 1年次（令和4年度） | 実践交流 |
| 2年次（令和5年度） | 課題及び改善方策の交流・実践交流と検証 |
| 3年次（令和6年度） | 共同実践と実践交流 |
| 4年次（令和7年度） | 実践のまとめ・発展 |

(3) 厚生部

小樽市小学校長会の方針に基づき、学校給食及び学校保健・安全の向上を図るとともに、会員及び教職員の福利厚生の充実と親睦に努める。

- ① 会員相互の親睦に関する業務の推進
- ② 学校給食関係諸機関との連携及び学校給食の向上への寄与
- ③ 学校保健・安全関係諸機関との連携及び学校保健の向上への寄与
- ④ 福利厚生及び関係機関との連携に関する業務
- ⑤ 業務内容に係る調査及び研究に関する業務
 - ・小樽市学校給食運営協議会
 - ・小樽市学校保健会
 - ・小樽市小中学校結核対策委員会
 - ・メンタルヘルスセミナー事業推進会議
 - ・小樽市青少年センター運営協議会委員
 - ・小樽市学校給食検討委員会
 - ・小樽市定期健康診断会議
 - ・小樽市保健所運営協議会
 - ・小樽市教職員体育大会推進委員会
 - など

4 まとめ

今年度は、第68回北海道小学校長会教育研究根室大会において、「健やかな体の育成」に関する小樽市小学校長会の研究4年次目として、体力・運動能力の向上や運動習慣の定着、生活習慣の改善を目指した共通実践を全道に発信し、大きな評価を得ることができた。

また、小樽市校長会テーマ「持続可能な新たな学校づくり」の下、「子どもたちの可能性を最大限に引き出す教育環境の整備」を重点目標として掲げ、小樽市小学校長会が全体で共通実践を行い、令和の日本型学校教育の実現に向けた取組や教育DXの推進（働き方改革の加速化）、学校のマネジメント機能の強化、危機管理意識の向上等に取り組むことができたことも大きな成果である。

一方で、学習指導要領改訂に向けて中教審で議論されている内容を注視するとともに、現行の学習指導要領を着実に実施できるよう、校長が強いリーダーシップを発揮して教育活動を推進していくことも重要である。

小樽市小学校長会は、今後も本市の学校教育に関する課題に対し、組織一体となり粘り強くその解決に向けて取り組み、学校改善に資する研究活動を、オール小樽・チーム小樽で推進していきたい。